

2020東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン燕市推進基本方針(案)



平成28年 4 月

燕市

1 策定の趣旨

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「オリンピック等」といいます。）は、スポーツの祭典として、スポーツを起点に観光や文化など多様な分野で新たな発展や質的向上をもたらすことが期待されています。

本市では、オリンピック等の開催を一層の地域活性化を促進する絶好の契機として捉え、日本一輝いているまち・燕市として本市の持続的な発展へとつなげるため、産業振興、地域スポーツの振興、観光客の増加などのレガシー ※1 の創出を図ります。

この基本方針は、オリンピック等の開催に向けたホストタウン構想 ※2 の推進に向け、本市における地域活性化を図る取組の方向性を示しています。

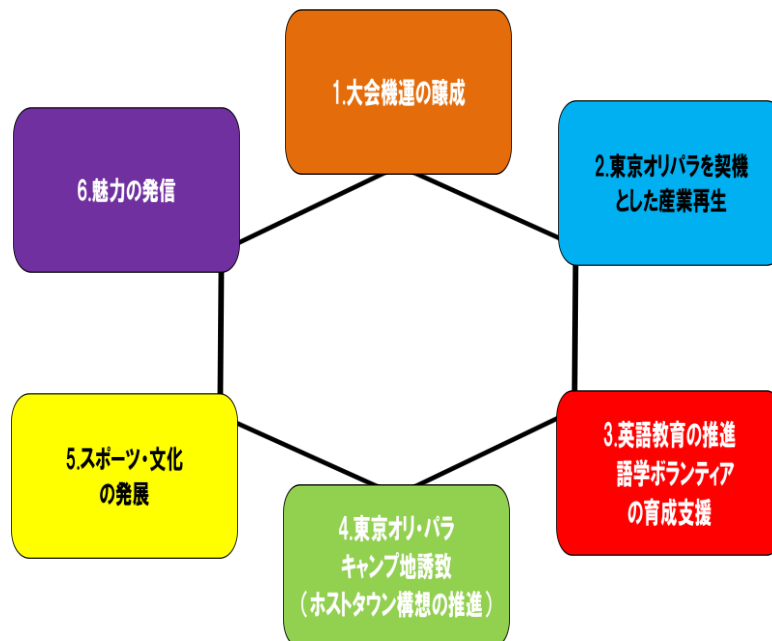
2 取組の方向性

(1) 取組の基本的な考え方

オリンピック等の開催を契機に、スポーツタウンつばめの更なる推進を図るとともに、本市の魅力を世界に発信します。

さらに、未来を担う子どもたちに夢と希望を与え、地方都市としてのにぎわいと活力を生み出し、本市が持続的に発展することを目指し、市民との協働により全市を挙げて、ホストタウン構想の成功に向けた取組を推進します。

(2) 取組の方向性 ～6項目～



※1 レガシー：オリンピック等の開催に伴って生み出される後世に残すべき有形又は無形の遺産のこと。

※2 ホストタウン構想：オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、スポーツ立国・グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等の観点から、希望する自治体を「ホストタウン」として登録し、当該自治体と参加国・参加地域との相互交流を図る取組のこと。

1. 大会気運の醸成

オリンピック等の開催に向けた気運を高める取組を実施するとともに、未来を担う子どもたちへ向けた取組を次のとおり実施します。

(1) 取組

- ① ホストタウン構想の推進
- ② 気運を高めるためにホストタウン登録国と合同練習、練習試合などのスポーツ交流、講演会などの文化交流の実施
- ③ オリンピック教育の推進
- ④ 市内の関係団体及び市民との協働による取組の実施
- ⑤ 新潟県及び近隣自治体と連携した取組の実施

(2) 取組によるレガシー

- ① スポーツへの参加意識向上
- ② オリンピック教育の充実
- ③ 自治体連携の強化

2. 東京オリ・パラを契機とした産業再生

世界的にも評価の高い本市の金属洋食器・厨房用品等を2020東京オリンピック・パラリンピックで採用してもらう取組を通じて燕製品のイメージアップを図り、更なる販路拡大につなげます。

(1) 取組

- ① 選手村にメイドイン・ツバメの金属洋食器採用のPR
- ② デザインコンペを開催し新デザイン金属洋食器の開発
- ③ 作業の省力化のため金属洋食器専用の洗浄機の開発
- ④ 調理ニーズに対応するため収納性、省スペース型厨房用品の開発

(2) 取組によるレガシー

- ① 産地商品開発力の強化
- ② ブランドイメージの更なる向上と販路開拓
- ③ 他のイベントに展開できる新たなビジネスモデルの創出

3. 英語教育の推進（語学ボランティアの育成支援）

オリンピック等のキャンプ受入れに当たり、通訳ボランティア等が必要とされることから、英語教育の推進、キャンプ受入れ国の言語講座、教室の開催、新潟県や近隣自治体等と協力しながら、市民のボランティアへの参加を支援することを目的に、次の取組を実施します。

(1) 取組

- ① ジャック アンド ベティ Jack & Betty プロジェクトの推進
- ② キャンプ受入れ国の言語講座・教室の開催
- ③ 市民のボランティアへの参加の促進
- ④ キャンプボランティア、通訳ボランティア等の育成支援

(2) 取組によるレガシー

- ① ボランティアに対する意識の向上
- ② 市民協働意識の醸成
- ③ 未来の産業人の輩出

4. 東京オリ・パラキャンプ地^{※3}の誘致（ホストタウンの推進）

本市は、ホストタウン構想に登録されたことから、オリンピック等の参加選手等と市民との交流を目的に、次の取組を実施します。

(1) 取組

- ① 国内外に向けたキャンプ地の誘致活動、ホストタウン構想の推進
- ② 県アーチェリー協会及び市のアーチェリー協会との連携
- ③ 吉田高校アーチェリー部及び県内高校アーチェリー部との連携
- ④ キャンプ国選手と合同練習や練習試合を実施し見学会を開催し交流
- ⑤ キャンプ国選手や通訳より文化、歴史等を学び交流

(2) 取組によるレガシー

- ① 国際交流の機会の拡充
- ② 本市の知名度の向上

※3 キャンプ地：オリンピック等に参加する選手及びチームが、大会前又は期間中に練習、調整等を行う場所。

5. スポーツ・文化の発展

オリンピック等の開催に向けて、スポーツに対する関心の向上、健康への意識の醸成、障害者に対する理解の深化、本市の文化の発展を目的に、次の取組を実施します。

(1) 取組

- ① スポーツを「する」「観る」「支える」環境の充実
- ② 障害者スポーツの振興、障害者の使用しやすい施設整備
- ③ 文化プログラム^{※4}の発信

(2) 取組によるレガシー

- ① 地域に根ざしたスポーツタウンつばめの発展
- ② 障害者スポーツを通じた障害者に対する理解の深化
- ③ スポーツや文化を通じた本市への愛着・誇りの醸成

6. 魅力発信

オリンピック等のキャンプ受入れ期間中は、多くの方々が交流に訪れることから、本市の魅力を発信し、観光振興につなげるほか、参加国等との交流を図ることを目的に、次の取組を実施します。

(1) 取組

- ① 観光資源の発信
- ② 国内外の来訪者の受入整備の検討

(2) 取組によるレガシー

- ① 国内外の観光客の増加
- ② 地域経済の活性化

※4 文化プログラム：オリンピック憲章において定める、開催国の文化を世界に発信するために行うイベント等の計画のこと。

3 推進体制

(1) 推進組織

① ホストタウン燕市推進委員会

オリンピック等の開催に伴う本市における関連事業を推進するため、市長を会長、体育協会会長と副市長を副会長とし、事業に関連する市の部長級と関係団体長等で構成する推進委員会を設置します。

4 スケジュール

オリンピック等が終了する2020年度までのスケジュールを次のとおり示します。

オリンピック等の開催後についても可能な限り関連事業を継続し、レガシーを創出します。

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度～
主な事業(作業)		▲オリ・パラホストタウン 燕市推進委員会設置				▲東京オリンピック パラリンピック	
大会機運の醸成	各取組の検討・各取組の実施						各取組の継続
ホストタウン構想の推進	県とホスト タウン登録	イベント(オリンピックによる講演など)実施等による機運醸成					レガシー
産業再生	ホストタウン構想の推進						
キャンプ地の誘致	メイドイン・ツバメのPR						
	新デザイン金属洋食器の開発・金属洋食器専用の洗浄機の開発						
ボランティアの育成支援	キャンプ地の誘致活動						
	受入れ準備の検討 一部実施	受入れ国とスポーツ交流・文化交流					
スポーツ文化の発展	オリパラ組織委員会・県から情報収集						
	ボランティア施策の検討、ボランティア教室、イベントの実施						
魅力発信	スポーツイベント・スポーツ交流の実施						
	文化プログラムの検討及び実施・文化交流の実施						
	ホストタウン 構想の検討	観光資源の検討・観光資源の発掘					
		国際交流の実施					